

伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画 施策評価委員会
【第1分科会 第3回会議】 会議録

〔期 間〕 令和3年1月13日(水)～1月19日(火)

〔方 法〕 書面開催

〔出席者〕

〈委員〉

妻 鹿 ふみ子

田 中 麻由美

山 川 勝 久

宮 崎 清

能 條 芳 夫

〔内 容〕

- 1 施策の評価について ※ 意見、評価は別紙のとおり
施策07：多様な働き方が選択できる保育の充実
施策08：次代を担う子ども・若者の育成支援の推進
施策09：きめ細やかな教育の推進
施策10：安全で快適な教育環境の整備
施策11：学習成果を生かせる生涯学習の推進
施策12：誰もが親しめるスポーツ活動の推進
施策13：歴史・文化遺産の活用と継承

施策		7：多様な働き方が選択できる保育の充実					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	B	B	B	B
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	B	B	A	A	A	A
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	C	C	C	B	B	C
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	A	B	B	B	A	B
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	A	B	A	B	A	A

<p>施策に対する 総合的な評価</p>	<p>保育サービスの充実を望むニーズが高まっているが、供給を増やすとニーズが増えるため、市民意識を満足させることが容易ではないことは理解できる。ただし、市民は隣接する市との比較も行うため伊勢原の独自の魅力的な施策を打ち出すことも必要である。保育ニーズに応える「様々な環境整備」とあるが、具体的な事業を打ち出す必要がある。</p>	<p>保育関連施設は整備できたのに保育士不足は深刻な問題。資格を持っていても子育て中の方が復職するのは、なかなか難しい。子育てがほぼ終了した方も体力的な問題等でなかなか復職してもらえない。保育士の仕事は精神的にも肉体的にも重労働だと感じる。保育士が働きやすい環境を整えていただきたい。</p> <p>児童コミは満員状態で4年生までの入所が限界で5～6年生はなかなか受け入れてもらえない現状。</p> <p>働く保護者から見れば保育所や児童コミの利用はありがたいものですが、現状はキビシイ。</p> <p>安心して安全な受け入れ体制を考えていただきたい。</p>	<p>①幼児教育・保育施設の整備については、計画通り順調であり大変評価できる。</p> <p>②施設は整いながらも待機児童が解消されない理由の最大の原因である深刻な保育士不足への対応策が示されていない。市独自の助成制度も含め、県内広くを視野に入れた人材確保の取組みが望まれる。</p> <p>③児童コミュニティクラブの推進については、クラブの民間委託をさらに推進できるよう期待している。</p>	<p>保育関連施設の増設、子供支援制度（出張・休日・夜間相談対応）は高く評価しますが、仕事と子育てを無理なく両立できる環境作りの実現は、施設や制度のみでは叶わず、保育士の増員が車の両輪として必要と認識します。市独自の財源確保を望みます。</p> <p>支援新制度の「支援専門員」についての言及が無く少々物足りない点があります。</p>	<p>職を求めて働こうとする人が増えていくので、保育所待機・保留児童数と児童コミュニティクラブ待機児童数が減少傾向になりにくいだろう。子どもたちを保育する建物や遊び運動できる場所等の施設面、子どもたちを保育する・見守る人の確保をして施設の増加が求められている。</p> <p>人材確保が難しい状態が続くので、市内で保育の仕事に一定期間、就くことを条件に助成制度を創設して、人材の育成確保も必要となる可能性がある。市の財政規模を考えると無理かもしれないが、限られた人数で取り組みをすすめていくのは解決の緒も見えないのではないかと。</p>
--------------------------	--	--	---	---	--

施策		8：次代を担う子ども・若者の育成支援の推進					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	A	B	B	B
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	C	B	B	B	B	B
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	B	B	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	B	B	A	C	A	B
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	C	B	B	C	B	C

<p>施策に対する 総合的な評価</p>	<p>主な指標の1つである「地域住民との交流体験活動に参加した子どもの延べ人数」が何に依拠して算出されているのかが分かりづらい。放課後子ども推進事業として「放課後子ども教室」が設置され、その設置数が毎年1か所ずつ増加することで、延べ人数の目標値も高く設定されているのだろうか。10000人の目標設定の根拠が示されていないのでわかりづらいが、令和元年度6か所の設置で約8000人の参加実績があったことで目標値に近いという判断でA評価がなされたのか？この点が分かりづらい。加えて、放課後子ども教室で、地域住民がどのような形で交流体験活動に参加したのかが示されていないので、課題として捉えられているのかどうか評価しづらい。職員負担が増しているという課題があげられているが、民間のサービスが確立している「婚活支援事業」を行政が施策として実施する必要があるのか、この点の課題認識がないのか気になった。「婚活支援事業」については縮小する可能性があるのではないかと評価して⑤はCとした。</p>	<p>放課後子ども教室は、地域の方々との交流ができて、とても有効なものだと感じる。家族以外で大人と子どもの関わりができることは大切なこと。</p> <p>子どもたちはこの教室を楽しみにしているので、いろいろなイベントを検討していただきたい。</p> <p>青少年に関する相談窓口はどこなのか？青少年相談員はどこにいるのか？わからないことが多い。相談を受けた時、どのようにつけていけばいいのかわからない。</p> <p>子どもの相談窓口は知られているが、青少年に関しては意外と知られていない。</p>	<p>①放課後子ども教室については、設置数も計画通りに順調に増え、評価できる。あとは、設置数の増加に伴う人材確保を安定させることが望まれる。</p> <p>②この子どもや若者の育成支援については、基本的には、暮らしの基本政策にあるように「子どもの成長をみんなで見守るまちづくり」等に立ち返り、伊勢原市全体としての地域力を活かせるような組織づくりに期待している。</p>	<p>施策の方針に記載がある「様々な体験学習や地域活動の充実」「地域交流促進」が即子供教室としている。単なる施設の数ではなく内容に言及すべきではないか。体験活動の内容及び回数による具体的な言及がほしい。</p> <p>家庭環境等の違いにおいて健全育成には子供教室と相談窓口は継続実施とされたいが、国の定めにもあるかもしれないが、婚活については相談事業の一部として済むのではないかと考える。</p>	<p>地域ごとに交流体験活動の取り組みがあり、参加する子どもが多く見られる。活動の種目・参加の仕方等、内容に工夫を加えながら今後も多い参加が定着することが望まれ、そうしたことが子どもたちの安全・安心な居場所になると思う。</p> <p>放課後子ども教室の設置は順調に増えている。市内のどの小学校区にも設置されているように望まれる。</p> <p>子どもたちは成長と共に疑問や不安をもつようになり、自身で抱える傾向が見られる。疑問や不安をすすんで相談できるような場が必要になるので、限られた職員で大変だが仕事の方法・内容を改善しながら子供たちの自立を促す取り組みを願う。</p>
---------------------------------	--	---	--	--	--

施策		9：きめ細やかな教育の推進					分科会の評価
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
①	主な指標の達成状況	A B C	B	A	A	B	A
②	事業の構成に関する評価	A B C	A	A	A	A	A
③	市民意識の反映	A B C	B	B	B	B	B
④	施策推進上の課題の捉え方	A B C	B	A	A	A	A
⑤	施策の方向性	A B C D	B	B	A	B	B

<p>施策に対する 総合的な評価</p>	<p>外国語教育推進事業の実施水準が令和元年度はCとなっているが、そのことの説明が欲しい。施策3も外国語活動、授業時数となっており、外国語教育に力を入れることが読み取れるが、今後も3は外国語教育なのかどうか、方向性で示してほしい。加えて「適切かつ臨機応変な組織体制の整備や人員配置を行っていく必要」が課題として示されており次期総合計画への方向性としても示されているが、実際には限られた予算でどう組織体制を作り、人員配置をしていくのか、容易ではないと思われる。現状維持につとめつつ、必要な施策には思い切った予算配置を行っていく必要があるのではないかと。</p>	<p>新型コロナの影響で学校に行けず家の中から出られな日々が多かった期間にリモートで授業ができればある程度の勉強は進められたはず。不登校の子どもたちもリモートだったら授業に参加できたかもしれない。</p> <p>スクールカウンセラーが月に数回ではなく常駐していたらいつでも相談しやすいのでは？</p> <p>外国語は小学校低学年から習うと中学生になってから抵抗なく授業に慣れるのでとても有効。もっと早くから始めてほしかった。</p>	<p>①小学校教科担当制に係る非常勤講師の配置校数の増と小学校のALTの授業数の増は評価できるが、人件費は増えていないようです。事業の充実と継続を考えると、今後は十分な人的配置が必要ではないかと考える。</p> <p>②新学習指導要領の全面实施と今後のコロナ感染症対策も視野に入れた十分な人員配置が望まれる。国の標準法や県の独自基準による教職員配置以外に伊勢原市独自の人的配置の拡充を計画的に拡大していくような施策が望まれる。</p>	<p>新学習指導要領の全面实施にあたり、施策展開の方向にあるとおり、柔軟な指導体制による事業推進をしている内容が明確であり、相対的に高く評価する。ただ、施策の方向性について「拡大して実施」を望みたいが今後の文科省の要綱変更が見えない今は「継続実施」とした。</p>	<p>教育に不安を感じるような出来事があると、熱心に行われている教育全体がその影響を受けてしまう。学力向上を図る取組み、小学校高学年の教科担任制、外国語教育の推進、教育相談の重視等と、きめ細やかな教育が進められていることは安心できる。</p> <p>新指導要領の完全実施に伴ない、その概要とねらいを教職員は完全に理解し、保護者にしっかり伝える必要がある。</p> <p>教職員一人ひとりの教科・学級経営の指導力を高めていくことが保護者や児童生徒はじめ市民の願いになるだろう。児童生徒に自らが考え、自分の考えをもって判断できる力を育てるような教職員研修の取組みが望まれる。</p> <p>新型コロナウイルスの影響が大きい。児童生徒がしっかり学び、友達や教師等、人間関係が築けていける教育環境を整備して欲しい。</p>
---------------------------------	---	--	---	--	---

施策		10：安全で快適な教育環境の整備					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	A	B	A	A	B	A
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	A	A	A	B	A	A
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	B	B	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	B	A	A	B	A	A
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し		B	B	A	A	B

<p>施策に対する総合的な評価</p>	<p>学校トイレの洋式化、中学給食の導入については進展があり、評価できる。ただし、中学給食については方針が決定しているもののまだ本格実施の予定が立てられていないことは懸念される。調整作業に2年以上かかるのは時間をかけすぎではないだろうか。</p> <p>築30年を超えた校舎が全体の8割であることを考えると、今後も安全で快適な教育環境を整備していくことはコストのかかることであると思われ、具体的な検討がさらに必要である。</p>	<p>全学校の普通教室へのエアコン設置が完了し、中学校給食も来年度から全校導入となり、市民の要望が長年かかってやっと実行された。</p> <p>中学校給食は小学校と異なり、現時点はアレルギーに対応しておらず、事前に予約が必要とのことで、今後も問題は出てくると思われ、保護者が納得できる解決策をお願いしたい。毎朝のお弁当作りから解放される保護者は喜んでいると思う。</p> <p>トイレの様式化や建物の修繕など安全教育環境の整備もお願いしたい。</p>	<p>①市内の多くの校舎が老朽化している状況である。児童・生徒の快適な教育環境を保障するためには、今後も子どもたちの安全面を最優先し、計画的に進めていただきたい。</p> <p>②トイレの改修は、単に老朽化という理由だけでなく、児童・生徒の健全な学校生活を送る上で大きな影響を与えられ、かつは、トイレがいじめや校内暴力の多発する場所でもありました。清潔で使いやすいトイレの整備は極めて重要である。</p> <p>③厳しい財政状況にもかかわらず、全学校の普通教室へのエアコン設置は子どもたちの安全面や学習効果も含め、高く評価できる。</p>	<p>トイレリニューアル、エアコン設置、中学給食の試等、目標に向けて順調に進捗しているところは高く評価するが、「学校施設の長寿命化」事業について、シート上には各年「22棟」と記載してあるが、要補修棟数を記載し、以降各年毎の補修棟数を記載すれば理解が容易である。</p> <p>「学校施設の長寿命化」事業を拡大して次期総合計画を計画されたい。</p>	<p>温暖化の影響が気温が高く続くことが多く、教室内に扇風機の設置や運動会の開催時期をずらす等の学習環境の工夫からエアコンの設置、トイレのリニューアルの進展は児童生徒の学びの環境を改善している。</p> <p>給食は栄養を考えて実施されるので安心感がある。中学校給食は市民の要望をふまえて早く全校で実施できるように進めてほしい。</p> <p>市内の各校の校舎は建設の時から年数が経過しているため、長く使用できるように改善する計画が進められていると思う。しかし予想される大きな地震を考えると、学びの環境と同時に災害時の使用を含めて考え、校舎の建築方法の改善・安全に長期に使用することから新しい校舎を増やしていくことも求められる。</p> <p>教室内でエアコン・パソコン・テレビ等の学習機器の使用が増え、利用が重なると既設されたブレーカーで使用電力を賄うことができるのかという不安がある。</p> <p>地域の大きな開発事業の進展による通行車両の増加が予想され、信号通過を減らして早く目的地に着こうと幹線道路ではなく狭い道路を走行する車も見られる。登下校する子どもたちの安全は大丈夫かと心配になる。通学路の様子・安全を確かめたい。</p>
---------------------	--	---	---	--	---

施策		11：学習成果を生かせる生涯学習の推進						
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価	
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5		
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	B	B	B	B	
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	B	B	B	B	B	B	
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	A	B	B	B	B	B	
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	A	B	A	B	A	A	
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	B	B	B	B	B	
施策に対する総合的な評価	<p>スマホ、SNS、サブスクリプション時代の生涯学習のあり方は、再検討をする時期にあるのではないかな。</p> <p>これまでと同じツールでは多くの人を呼べなくなっているとの認識が必要ではないか。加えて、コロナ禍にあっては少なくとも来年度はオンラインでの講座なども企画する必要があるのではないかな。見直しが必要という課題の捉え方は的確である。</p>	<p>生涯学習に関心のある方とない方がいるのは仕方ないと思う。</p> <p>ホームページや広報いせはら等で情報をわかりやすく発信していただきたい。</p> <p>高齢者が年々、増えていく中で家の中にこもり外部との接触も少ない方々が、学びたい気持ちになる情報がほしい。</p> <p>年齢に関係なく誰でも学習できる情報を提供していただきたい。</p>	<p>①市民の生涯学習の推進は、伊勢原市の未来にとっても極めて重要であると考えられる。生涯学習講座やイベント等の実施については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、市民に活動の場を提供できなかった点は残念でしたが、市民のニーズは高いので、今後の取組みに期待したい。</p> <p>②このコロナ禍での市民生活の変化も関係していると思われるが、社会教育ホームページの閲覧数の伸びは市民のニーズに応えてきた結果でもあると思う。今後も引き続き充実した内容のホームページを市民に提供するとともに、市民の希望やニーズを把握する手段としても活用できるような工夫も考えて欲しいと思う。</p>	<p>事業全体良好に推進していると評価する。なお、自然災害や新型コロナ感染拡大による市民の参集機会は狭まっているが、反面市民は家においてのスマホ、パソコン利用者が多くなり、当事業もホームページ閲覧数が増加していると考えられる。事業の「社会教育ページ」は神奈川県リンクが主体のようであるが、伊勢原市独自のホームページ作成のうえ、掲載を期待します。</p>	<p>生涯学習に参加することにより、交流から人と人とのつながりができたり、興味関心を深めて新たな知識や技能が獲得できたりするので生涯学習活動に参加する良さを発信し続けてほしい。新型コロナウィルスの影響で講座やイベントが中止になったりしているが、社会の情勢から新たな感染症とその対応や携帯電話の便利さと怖さ等の問題が見られるので内容を検討して今後も続けられたらと思う。</p> <p>生涯学習活動するために利用できる場所や施設が少ない。継続した活動をするため場所を探すのが大変だという声が聞かれるので、活動ができる場所や施設の整備が望まれる。</p>			

施策		12：誰もが親しめるスポーツ活動の推進						
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価	
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5		
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	B	B	B	B	
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	A	B	A	B	A	A	
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	A	B	B	B	B	B	
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	B	B	A	A	A	A	
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	B	B	B	B	B	
施策に対する総合的な評価	<p>健康促進プログラムの提供を受けた市民の延べ人数と、競技スポーツ大会、講習会の参加者数で捉える限りは目標達成状況は目標値をやや下回っているため達成状況は概ね順調としてもよいと考える。</p> <p>今後の社会状況が読めない中で、施策の方向性をどう考えるか容易ではないが、課題の捉え方をもう少し丁寧に行ってほしい。</p>	<p>新型コロナの影響で外に出るのが億劫になり、家の中にもってしまいがちですが、室内でも室外でも手軽にできる運動を紹介していただきたい。</p> <p>感染予防をしながら体を動かすことの大切さを広めてほしい。</p> <p>年に関係なく、健常者の方も障がいのある方も助け合いながら楽しめるスポーツを検討して欲しい。</p>	<p>①伊勢原市民のスポーツに関する意識や関心は、これまでの取組みの結果として県内においても比較的高いと考えられる。</p> <p>②このコロナ禍で、今後の各種スポーツイベント等の開催見通しのつかない状況ではあるが、各事業は感染防止対策等を勘案しながら引き続き継続することが望まれる。</p>	<p>コロナ禍の状況が混沌としているなか、良好に推進していると評価する。ただ、これから事業を推進することは、非常に難しい一方各種スポーツによる市民の健康維持増進が必要であることから、当事業を柔軟的に実施し、市民の健康維持増進を支援されたい。</p>	<p>地域で継続して朝の体操をする姿が見られるなどチャレンジデーに参加して運動を楽しむ、人とのつながりをつくることが定着してきたと思われる。</p> <p>運動やスポーツをする人達が利用できる場所や施設を望む。要望が多くあると思うので、そうした面での整備が促進されるとよい。また、友達同士あるいは親子で車に気をつけて路上で遊ぶ姿も見られるので、子ども達が遊べる広場も増えるとよい。</p> <p>寒い季節でも一人または複数で歩く姿がよく見られる。健康を考えて行動されているようで、スポーツ種目でなくても自分ができる時に運動ができる、工夫により楽しめる方法などを発信していくことも大事である。</p>			

施策		13：歴史・文化遺産の活用と継承					分科会の評価	
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果						
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5		
①	主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	C	B	B	B	B	B
②	事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	A	B	A	A	A	B
③	市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	B	B	B	B	C
④	施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	A	B	A	A	A	A
⑤	施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	B	B	A	B	B

<p>施策に対する 総合的な評価</p>	<p>主な指標の達成状況をこの社会状況で正確にはかることは困難であるが、当初の値を比較すると低い評価になることはやむを得ない。</p> <p>文化財をたんに保護するだけではなく、継承する仕組みやそこにかかわる人材の育成や保護団体の支援まで射程の広い施策の方向性が打ち出されており評価できる。</p>	<p>新型コロナの影響で各種のイベントが中止になりましたが、様々な歴史や文化遺産に触れる機会をたくさん作っていただきたい。</p> <p>いせはら文化財サイトを市民の方々にアピールして欲しい。(私も最近、初めて検索しました…)</p> <p>小さな子が見てもわかるように絵本を作ってほしい。</p> <p>歴史や文化遺産の宝物をいつまでも受け継いでいけるような取り組みをお願いしたい。</p>	<p>の歴史・文化遺産があり、近年はその魅力が県内、そして全国に広まりつつある。さらに日本全国、さらに世界中にアピールできるような工夫や取組みが望まれる。個人的には、太田道灌がNHK大河ドラマ候補に挙がるようなアピールも期待している。</p> <p>②伊勢原市には、郷土の歴史に詳しい人材や地元の歴史に興味をもった方が多く存在していると思われる。そうした人材を中心にさらなる埋もれた人材や歴史的資料の掘り起こしを拡大をしながら、貴重な歴史・文化遺産の継承を図っていくような工夫が望まれる。</p> <p>③地域の歴史・文化遺産や資源の掘り起こしとその市外へのアピールが伊勢原市全体の活性化につながるような取組みを行政と市民が一体となって取り組むさらなる工夫が求められていると考える。引き続き、歴史的遺産の保存に影響を及ぼさないようしながら、経済の活性化にもつながるような施策を期待している。</p>	<p>コロナ感染拡大による令和2年のイベント関係は大打撃を受け、参加人員が大幅減少である。一方参集せずに行えるサイト閲覧は平年並みであり影響は少ない。今後コロナの感染動向が混沌としている中で評価であるが、今までの事業推進状況を見ると順調である。</p> <p>国の主管のためか、「文化財(教育部)」観光(経済観光部)」が組織上分けられているが、歴史遺産解説については共通する内容が多い、二種のサイトの中でリンクさせ情報の共有を検討された。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大。そして緊急事態宣言というなかでは、予定準備された計画イベントが実施できなかったことは致し方ありません。</p> <p>日本遺産で認定された大山をはじめとする構成文化財を活用した取組みで、地域の文化財を活用した催しがよく見られるようになった。伊勢原市に訪され、文化財を見学して歴史そして散策を楽しまれる様子が見られたので市の活性化という大きな目標に近づいていると思う。また、地域の文化財の保護と自分の地域の文化財のことを考えていく動きができてきた。</p> <p>伊勢原市のホームページの「いせはら文化財サイト」は市内の歴史と文化財のことが楽しめる。さらに興味関心を高めるために、情報発信の工夫と共に市の地形・自然・産業・歴史等の展示を見学して楽しめる施設も望まれる。</p>
---------------------------------	---	--	---	---	--